

森ゆうこ議員の民主党両院議員総会などにおける発言について
(2011. 1. 24)

1月13日の民主党大会において、私、辻泰弘は、大会実行委員会からのご指名により、大会議長を務めさせて頂きました。

その際、同大会において質疑の時間を設けなかったことについて、森ゆうこ議員は、大会後に議長（辻）が森議員に電話をかけ、「質問を認めるべきだった」と述べた旨を各種発信し、24日の両院議員総会においても、「議長は、大会で質問を認めるべきだったと言っていた」と発言しましたが、これは全く事実と反するものです。

事実は、私が、大会の開始前に、従来から党大会では当日の質疑の時間を設けてきていないことを森議員に直接伝え、理解を求めていたことを踏まえ、森議員が、13日の大会後の夕方（17時43分）、私に電話をかけてきて、開口一番、「事前に言ってもらっていたのに、今日は申し訳なかった」と言ったので、私が、「あなたの気持ちもわかるが、大会運営の慣例により、当日の質疑を設けたことはないのだ」との意を申し上げたものです。

24日の両院議員総会の場で、最後にそのことを申し上げるべく、挙手をしましたが、時間の都合上、私の発言が許されるには至りませんでした。

念のため、当日の夕刻、森議員から私にかかってきた携帯電話の着信履歴の写真を掲載しておきます。